

■ 特集2

メディア販わす尾州企業

素材開発から海外戦略まで幅広く

(ここに収録の記事は2005年1月から4月までに掲載された分です)

バンブーで婦人向け

バンブーを使った婦人ブラックフォーマル素材を東北整鍊（米沢市）、田村駒ファッション室と開発、今春夏から販売。秋冬向け

特殊紡績と染色技術組合せ

特殊な紡績技術とスペースダイなどの染色技術を組み合わせた特徴のある「フィオーレ」、「ラオラ」、「フェイス2」糸を開発。フィオーレはホロースピンドル（中空紡績）が生み出す毛羽が長く、柔らかいタッチの糸を

「エムズアーク」販売

創業100周年を記念して紳士服地の新ブランド「M's ARK」（エムズアーク）を販売する。主要百貨店のオーダー売り場やテラー、ミユキハンドレットクラブで取り扱う。オーダーの仕立て上がり参考価格はスーツ

ナポレナ浄蓮布販売

ハスの繊維を使った紳士ジャケット地「ナポレナ浄蓮布（じょうれんふ）」を2月から全国の主要百貨店のオーダー売り場やテラー、ミユキハンドレットクラブで販売する。

米沢織でジャケット

米沢織を紳士ジャケット地に再現して「ナポレナ米沢織」として百貨店のオーダー売り場やテラー、ミユキハンドレットクラブで、3月から80着分の限定で販売する。仕立て上がり参考価格は24万円。米沢織は、米沢藩主の上杉鷹山が藩財政立て直しのために家臣の婦女子に織物を習得させたのがルー

中国販売に乗り出す

2月22～24日、上海で05年秋冬物展示会を開き、中国販売に乗り出す。尾州産地の毛織物メーカーが国内素材を持ち込み、展

野村産業

も開発中で、今春夏向けでは200反、2年後には年間1,000反の販売を見込んでいる。

三幸毛糸紡績

スペースダイした。ラオラは1本の糸がループになったりストレートやスラブになったり、部分で形状を変え、染め分けた。フェイス2は1本の糸が突然色を変えるもので、変わり方ははっきりして鮮明。

御幸毛織

19万円（本体）、ジャケット14万円。素材はメリノの一種でクリンプが深く、白度が高い豪州メリノビル種を基軸原料として位置付け、春夏物ではこのメリノビルウールと南アフリカ産キッドモヘアを中心に扱う。

御幸毛織

ハスの茎にはらせん状の繊維があり、数本の茎から取り出した繊維を収束することで、1本のハスの糸ができる。ナポレナ浄蓮布は生糸を巻いたハス糸をよこ糸に使った。

御幸毛織

ツといわれ、新潟の小千谷から技術者を招いて指導にあたらせ、養蚕の発展とともに絹織物の転換した。たて糸に生糸の染め糸と絳染めの糸を配置し、よこ糸は凹凸のある2色のシルクスラブを使い、和服地のイメージで紳士ジャケット地をつくった。

中伝毛織

示会を開くのは初めて。展示会の反応を見ながら、毎年一回、継続的に開く予定だ。

仏「トラノイ」に出展

「和魂洋才」をブランドコンセプトにした製品をフランス・パリの「トラノイ」（3月3～6日）に出展し、これを機に製品の輸出事業を立ち上げる。出展するのは秋冬物のコートやジャケット、シャツ、ボトムなど婦人

原料からのオリジナル

06年春夏素材企画で原料や糸、織り編みの各段階でオリジナルに開発した素材を提案する。戦略素材として企画の柱にしているのは、軽くてソフトな仕上がりが可能な「エアースピン」シリーズと撚糸技術を駆使した紙繊維「オージョ」のバリエーションの二つ。

「エアースピンⅠ」は原料の繊維をそのまま

バーコードで生地管理

扱い生地のバーコード管理を始めた。市販のバーコードリーダー機、バーコード読み取り機コンピュータを導入したほか、自社で独自に管理ソフトも開発した。バーコードには

プロジェクトで

新年度（05年7月～06年6月）から、ウールマークライセンス収入の一部をマーケット活動に投入する戦略を進める。アパレ

「ミレニアムⅡ」

ウール100%素材を後染めによってミックス調やデニム調など異なった素材感に変えるのが、艶金興業の染色整理加工「ミレ

中国に見本糸専用染色工場

5月に日中3社合併による見本専門の糸染めメーカー・嘉興茶福染色有限公司（本社・中国）を設立する。同会社は資本金80万ドルで、出資比率は元染色メーカー役員の田

エコ素材多彩に

環境や人体に優しいテキスタイルの提案を強めている。4月27日の愛知万博で開催される環境素材を使ったファッションショーに素材を提案するほか、6月に東京で開かれる「ジョイント・尾州」（JB）では草木染めなど新たなエコ素材を提案する。これまでケナフやバンブーなど植物新原料を使っ

いわなか

服で、和紙「オージョ」をウールや綿と複合した特色ある素材を中心に、先染めや後染め、製品加工などでバリエーションを持たせた。専門店やセレクトショップ向けに企画する。

いわなか

表現するために、ナイロンフィラメントを添えて強度を増した綿、麻素材。「エアースピンⅡ」はⅠの改良タイプで、さらに風合いと強度を向上させた素材。100番双糸や120番双糸の細番手からコンパクト糸や、太番手ムラ糸、SZ撚り仕様など幅広いバリエーションで提案する。

いわなか

品番、生地幅、混率、目付けなどの情報を入力、ハンガー見本すべてに個々のバーコードを付けた。

ウールマークカンパニー

ルで4つ、寝装とカーペットでそれぞれ1つの、合計6つのプロジェクトを計画している。

艶金興業

ニアムⅡ」。伝統的な染色整理技法に、最新機器による加工を融合した後染めの進化版である。（連載より）

安福繊維

島菊男氏60%、安福繊維20%、現地の嘉興富利嘉紡織公司20%。5キロから100キロまでの噴射式と回転式の染色機50台を導入、月産50トンの生産能力で立ち上げる。

田中テキスタイル

た素材開発や、ヒノキの廃材やおがくずを材料としたセルロース繊維、梅炭練り込みなど、テキスタイルには使われてこなかった原料使いにも挑戦してきた。ショーではケナフ、ホワイトパイン（白松）、大豆繊維の3素材が使用される。

※次回は5月以降の掲載記事を紹介します。